

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	A-136	14-032
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門		
題名 (原題/訳)		
<p>Wine consumption throughout life is inversely associated with type 2 diabetes risk, but only in overweight individuals: results from a large female French cohort study. 生涯のワイン摂取量は 2 型糖尿病発症リスクと逆相関しているが、その関連は過体重の女性でのみ認められる—フランス人女性大規模コホート研究の結果より—</p>		
執筆者		
Fagherazzi G, Vilier A, Lajous M, Boutron-Ruault MC, Balkau B, Clavel-Chapelon F, Bonnet F.		
掲載誌		
Eur J Epidemiol. 2014 Nov;29(11):831-9. doi: 10.1007/s10654-014-9955-7.		
キーワード		PMID
ワイン、2 型糖尿病、コホート研究、フランス、女性		25270278
要 旨		
<p>目的： アルコールと 2 型糖尿病との関係は、U 型を描くと以前はいわれていたが、アルコールの中でも特にワインに特化した場合の両者の関連については、あまり知られていない。我々は、2 型糖尿病発症とベースライン調査時のワイン摂取量・その後一生涯のワイン摂取頻度との関係を初めて調べた。</p> <p>方法： 一生涯のワイン摂取頻度は革新混合軌跡モデリング(innovative group-based trajectory model)を使い推定した。フランス前向き研究 E3N-EPIC コホートに参加した 66,485 人の女性を 1993 年から 2007 年まで追跡した。追跡中に 1,372 人が 2 型糖尿病を発症した。多変量 Cox 回帰モデルを用い、2 型糖尿病のハザード比(HRs)と 95%信頼区間(95 % CI)を求めた。</p> <p>結果： 飲酒者のワインの平均摂取量は 122ml/日であった (0.81 drink 、1 drink = 150 mL)。ワインと 2 型糖尿病との関係があったのは過体重の女性でのみであった (交互作用 P=0.0084)。過体重の女性では、ワインの摂取量は 2 型糖尿病発症リスクと逆相関していた(傾向 P = 0.0022)。300 ml/日以上のワインを飲む過体重女性は、飲酒しない群に比べて、2 型糖尿病発症リスクが低かった (HR 0.59 (0.43-0.82))。10～15 歳前後の若年でワインを飲み始めた女性は、生涯有意に飲酒しない群に比べて、2 型糖尿病発症のハザード比が低かった。</p> <p>結論： 我々の研究ではワインの摂取量は 2 型糖尿病発症リスクと逆相関していたが、その関連は過体重の女性でのみ認められた。過体重の女性ではすでに 2 型糖尿病のリスクが高いが、生涯にわたって適量のワイン摂取が予防的に働く可能性があることが示唆された。過体重の女性でのワイン摂取による糖尿病の予防効果について他のコホートで確認する必要があるであろう。</p>		